

校長のつぶやき

校長室便り 第22号

令和元年7月24日 山内



○終業式式辞 ～言葉は人を助けるために使いましょう～

令和元年度終業式 式辞

「座ってください」終業式にあたり一言お話をします。

4月に岩出山高等学校に赴任して以来私は「安全で安心できる学校づくり」を最重要事項に掲げ、岩高生の皆さんと先生方にお話してきました。生徒の皆さんと先生方一人一人「安全で安心できる学校づくり」という意識を持ち続けたその結果、昨年までと比べて学校は落ち着きを取り戻したと多くの方々からお褒めの声をいただきました。引き続き生徒・職員一人一人が「安全で安心できる学校づくり」という意識を持ち続け、令和元年度を「新しい岩高のスタート」の年にしてください。

さて、終業式に際して今日は皆さんに「言葉」のことを話します。私たち人間はこの地球上で唯一「言葉」を使える生物です。であるにも関わらず、「人を傷つける」など言葉の使い方があまりにも悪い人間が目立ちます。本来「言葉」は人に感謝したり、謝ったり、励ましたり、つまり人を助けるために使わなければなりません。嘘をつくなどもってのほかです。

これからは、人を助けるために言葉を使ってください。言葉で人を傷つけるのはやめてください。言葉を使って嘘をつかずに、真実を話して下さい。岩高生ならできます。

明日から夏休みです。進路が目の前にありますので3年生は夏休み中でも出校する日も何日かありますが、夏休み明け8月22日（木）の始業式に生徒・職員全員が元気な姿で会いましょう。

以上で式辞とします。

○吹奏楽部 ～コンクール銀賞～

7月20日（土）栗原市文化会館において、吹奏楽の支部コンクールが開催され、本校吹奏楽部4人の皆さんが出場してきました。野球の合同チームは実施されてから数年経ちますが、吹奏楽の合同チームは今年から可能となりました。松山高と加美農高との合同で小編成の部に出場しました。演奏曲「レ・プレリュード」という曲名は「前奏曲」を意味するフランス語で、全曲を通じて明るく躍動的、かつ品格や重厚感のある作品として知られています。たった4人ながら、合同チームで立派に演奏してくれました。

3年3組 後藤 瑞希 さん

今回のコンクールでは加美農、松山との3校での出場となりました。約2ヶ月という短い期間での練習でしかも合同練習は数回しかなかったのですが、本番では練習の時よりも良い演奏ができてとても良かったと思います。思うような結果にはなりませんでした。良い経験、良い思い出になりました。支えてくれた家族、先生方に感謝しています。ありがとうございました。

○3年生就職希望者の諸君 ～十分家族と相談して～

昨日7月23日（火）で三者面談は終了しました。わざわざ学校まで足をお運びいただいた保護者の皆様に心から感謝いたします。お寄せいただいたご意見等を早速検討させていただきたいと思います。

3年生で特に就職希望の皆さんはいよいよです。合同企業説明会や就職対策セミナーを有効活用して、予備登録前にはご家族と十分相談してください。そして、書類提出期限をしっかりと守る、担当の先生方の話をよく聞く、毎日新聞に目を通すとといった「平凡なことを徹底して」ください。ではこれで今回の校長のつぶやきはお終いにします。



「夏休み ゆかたに着替え 団扇持ち 出店に行きし 青春の日々」